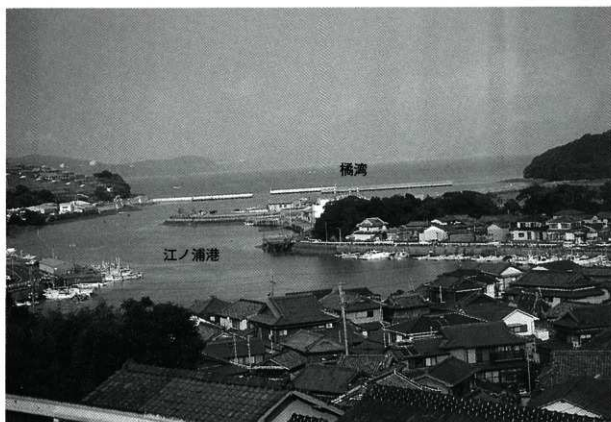




図版 1 飯盛町域空中写真

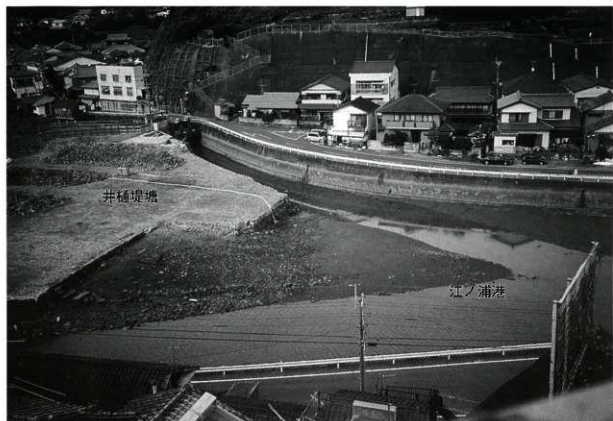


南側から



橋湾を望む

図版2 井橋堤堰周辺①



西側から



西側から

図版 3 井樋堤塘周辺②

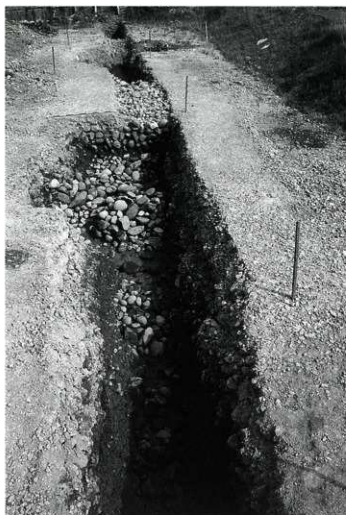


東側断面



西側断面

図版 4 2002年度調査区

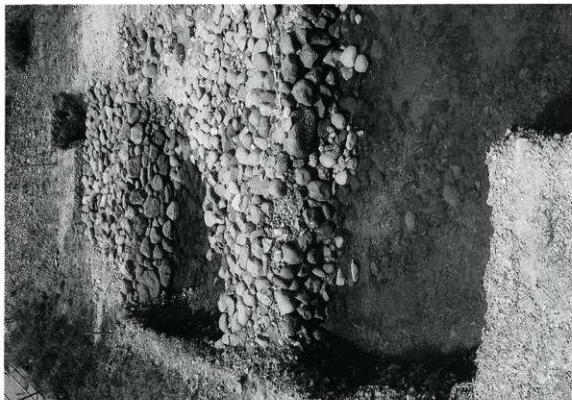


南側から



上部環堤と中部環堤 (南側から)

図版5 井3-II T区の調査



(発掘前)

図版6 井3-III丁区の調査



(北壁と南壁(丁線跡))



南側から



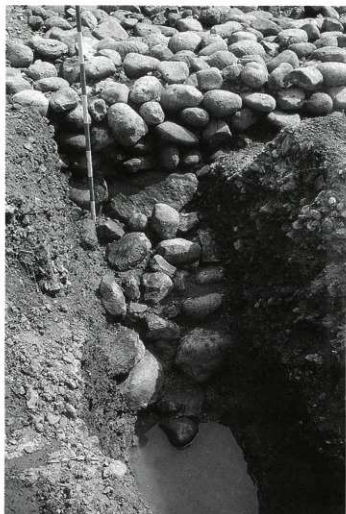
東側から

図版7 井3-ⅢT区中位堰堤の調査



【はがねどろ】（粘土の充填状況）

図版 8 井 3-Ⅲ T 区北堤の南壁



北側から



東側から

図版9 上位堰堤北縁の構築状況 (井3-ⅢT)



図版10 上位臺の北境（左側）と階境（右側）

V ま と め

井樋堤塘は江の浦川に潤される水田部分（旧開新田）の最南端部にある。開新田部分はその形から「月の港」と呼ばれる遠浅の入り江であったことは、新田周辺に今も残る干渡・塩屋籠^{しよやかご}などの地名によっても察することができる。この遠浅の入江を水田として活用することは財政が逼迫していた謙早藩にとっても急務であったが、この間の事情については2004（平成16）年度に刊行される『飯盛町郷土誌』の中の「月の港の干拓」（福井英俊）によって知ることができる。一方、『江ノ浦村郷土誌』（1956）は樋門部分と人工島部分について概要を記しているが、形状・規模などについては具体的に知ることはできない。本書は2002～03年度にわたって実施した試掘調査の概要報告書であるが井樋堤塘の人工島についてその一端を知ることができた。概要と今後の問題点を要約すれば次のとおりである。

1. 井樋堤塘の規模

樋門部分の現在の規模は長さ約17mで「水門は広さ五間余、長さ十数間…」とした『江ノ浦村郷土誌』の記述と一致する。人工島部分は南北約62m、東西約82mを計り、北東・南東・南西角部分は水流を和らげるためであろう角を落としている。南東の角は後世の江の浦川工事によって大きく変容している。

2. 人工島の構造

本文に記したとおり、3段に築成されている。

〈下位堰堤〉

南側に向かって緩く下降傾斜する円礫積みの基礎工事部分で、現在の人工島の南限にほぼ達するが、低水位にあるため今回は調査不可能であり、記録措置を果たせなかった。人工島の北半部分については今回の調査対象外であり不明である。

〈中位堰堤〉

東端（井3-ⅡT）と西端（井3-ⅢT）の調査区において認められた遺構で、上位堰堤の南側直下に構築された半円形の遺構である。上位堰堤を波濤から守る遺構と考えられるが、東～西全面に構築されたものであるか否かについては今回の調査では確認できなかった。各堰堤の北側には構築されていない。

〈上位堰堤〉

人工島の東西全面にわたり最上部に構築された堰堤遺構である。南北幅12m（井3-ⅢT）～10mと部位によって幅と構造に差異がある。南辺は急傾斜の石垣、北辺は緩く下降傾斜する。部分的に二重に構築されるなど部位によって構造に差異がある。断面形も半円形（井2-ⅠT）と台形（井3-ⅢT～ⅣT）部分がある。

〈石材〉

大部分は径50cm以下の円礫が使用されているが、角礫が併用されている部分がある（井2-ⅢT～ⅣT）。

以上、井樋堤塘人工島の残存遺構についてまとめたが、①堰堤は南側が複雑嚴重、②堰堤北側は単純ということが出来る。遺構は東西部位によって構造・規模に差異がある。①は海からの波濤に、より強く留意した結果、②は度重なる難工事による試行錯誤の結果、と理解できる。

3. 問題点

近世の干拓工事遺構に関する発掘調査例は少なく、構造的にも不明な点が多い。本遺跡は試掘調査の性格上、部分的な調査にとどまり構造的に解明できなかった点も少なくないが、構造上また規模の面でまれな事例であり、将来この種の遺跡調査の好事例になるであろう。その点で部分的にでも保存が検討されることが望ましいが、水害などによる付近一帯の安全が第一であることも論をまたない。地元民と松本四郎左衛門の労苦が結集して生まれた遺構の一部保存と水害対策の両立が不可能であるか、検討されることを期待したい。（正林）

報告書抄録

ふりがな	いびていとう							
書名	井 樋 堤 塘							
副書名								
巻次	飯盛町文化財調査報告書第4集							
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名	正林 護							
編集機関	長崎県北高来郡飯盛町教育委員会							
所在地	長崎県北高来郡飯盛町開名1929-3 TEL (0957) 48-0049							
発行年月日	西暦2003年12月20日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡番号		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積	調査原因
井 樋 堤 塘	飯 盛 町	423424		32°45'59"	130°1'36"	2002.8.5 ～8.23 2003.7.2 2～10.27	190㎡ 162㎡	遺構確認調査 ◇
所収遺跡名	種 別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
井 樋 堤 塘	防潮堰堤	元禄時代	並列複式石積 堰堤			<ul style="list-style-type: none"> ・堤防構築材（最大50cmの円礫積み ・三段構築 ・充填材：「はがねどろ」（粘土） 		

飯盛町文化財調査報告書 第4集

井樋堤塘

2003. 12

発行 長崎県飯盛町教育委員会
〒854-1112
長崎県北高来郡飯盛町開名1929-3
TEL (0957) 48-0049 FAX (0957) 48-0518

印刷 (株)昭和堂
〒854-0036
長崎県諫早市長野町1007-2
